

請願 第42号

受付 令和5年 8月24日

小中学校の学校給食費無償化と地元産食材の拡充を求める請願

紹介議員 遠山智恵子 加増 充子

・請願趣旨

学校給食は、教育の一環であり、子どもたちの心身の成長を促進する食育としても重要であると位置づけられています。しかし、物価の上昇などの影響で、給食費が保護者にとって負担になっている家庭も増えています。

保護者の負担を軽減し子育て世代を支援するために、全国的に給食費無償化や公費助成が広がっています。茨城県でも、小中学校完全無償化が7自治体になりました。しかし、取手市は食材費の価格高騰分の補填のみで、保護者の負担の軽減は未だされていません。そればかりか、県下一高い給食費（中学校5,080円、小学校4,570円）となっています。

憲法26条「義務教育は無償とする」との立場から、授業料・教科書無償と共に、給食費も無償であるべきです。中村市長も、市長選の公約で「学校給食費の負担軽減」を掲げました。未来ある子ども達誰もが、安心しておいしい給食を食べられるよう、是非給食の無償化を実現してください。それが魅力ある取手市として、若い世代の定住化促進にもつながるのではないのでしょうか。

また、輸入小麦から残留農薬が検出される問題もあり、食の安全への関心が一段と高まって、各地で地元産の農産物を学校給食の食材に取り入れる動きが広まっています。給食の質の向上と栄養改善、健康増進のためにも、地元産食材の拡充と有機農産物を学校給食へ取り入れることを求めます。

・請願事項

- 1 市として小中学校の給食費を無償にしてください。
- 2 学校給食に地元産食材の拡充と有機農産物の使用をすすめてください。

以上、地方自治法第124条の規定により請願いたします。

令和5年 8月24日

請願代表者

住所 取手市井野 3364

氏名 新日本婦人の会 取手支部

代表 森 恵美子 ほか1,563人

取手市議会議長 殿